

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年11月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300690
法人名	社会福祉法人 舞鶴会
事業所名	グループホーム まいづる
所在地	鹿児島県鹿屋市大手町10番6号 (電話) 0994-52-1666
自己評価作成日	平成23年10月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年11月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様、ご家族、来客者など皆様にアットホームな雰囲気を感じてもらえるよう、スタッフ一同、明るく元気にまた親身になって接するよう心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・繁華街のビルの2階がホームである。周囲には、商店街や銀行・コンビニストア・ドラッグストア・バス停等があり、利便性のよい環境である。
- ・ホームは大きな窓があり、自然の明るさを取り入れる工夫がしてある。また外の景色や歩行者が見え、近隣との親近感も得やすい。
- ・町内会に加入し、地域行事に参加したり職場体験学習を受け入れる等、地域との交流が図られている。
- ・運営推進会議が充実しており、意見等が運営に活かされている。
- ・災害対策については、地域の「西大手町連絡網」に組み入れられ、緊急連絡網があり、地域の協力体制ができている。
- ・管理者は、職員の意見や提案を積極的に取り入れ、運営に反映させている。
- ・明るく清潔感のあるリビングで、利用者はゆったりと生活している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を実践する為、理念に反しているような言動が見られた場合は、スタッフ同士が互いに注意を行うようにしている。	地域との関連性を重視した独自の理念を作っている。理念を朝礼で確認し、日々のケア実践に活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、町内会の行事（清掃活動、お月見会等）に参加している。	町内会に加入し、散歩や買い物の際に、挨拶や会話を楽しんでいる。地域行事やカンパチの解体ショー・お月見会等に参加し、地域と親しく交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方々に向けての活動は現在行われていない。今後の予定として、認知症サポーター養成講座を開催し、理解や支援の協力を広げることができるよう努めていきたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長（民生委員兼）、ご家族（1～2名）、市職員、地域住民代表者、近隣グループホームスタッフ、理事、スタッフ3名参加を基本に開催。皆さんの情報や質問を基に、サービス向上に活かす事ができている。	会議は2ヶ月に1回開催し、外部評価の報告や事業所の状況を報告している。参加者から忌憚のない意見が出されて活発な会議になっている。その意見はサービス向上に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市担当者とは、質問や情報等の連絡を取り合いながら協力関係を築く事ができている。	市担当者と連絡を取り合い、情報交換をしている。更新手続きの際等にも、利用者の暮らしぶりを報告し、アドバイスをもらっている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	入居者様の状況に応じて、その都度、関係者が集まり、適切なケアを行うことができるように努めている。また、月1回のスタッフ会議の際に、テーマとして取り上げ、個々に合ったケアの再確認を行っている。	月1回のスタッフ会議で研修を実施し、身体拘束廃止マニュアルを基本に、職員の共通認識を図っている。昼間は玄関は施錠していないが、家族の同意を得て17時に施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ケアの仕方や言動について、スタッフ同士が気を付け、気付いたことについては、管理者に報告を行う、または、互いに注意しあうなどの取り組みを行い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修等に参加し、学ぶ機会を得ている。必要に応じて、ご家族に制度の紹介を行う準備を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約事前に必ず面談や文書を作成し、理解・納得を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族からの意見等は、随時受け付けていることを、月1回の便りや面会時、家族会等で話し、運営に活かす事ができている。</p>	<p>日頃から、何でも言えるような雰囲気作りに留意している。出された要望や意見等は、連絡ノートに記載し職員会議で話し合い、運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回のスタッフ会議、理事長との面談を通して、意見を聞く機会を設けている。</p>	<p>管理者は、定例のスタッフ会議で職員の意見や要望を聞き、その反映を図るよう心がけている。ケアについての意見等が出て、具体的な改善につながっている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、月次の勤務表により労働時間を含む職員の勤務状況の確認を行っている。また、人事考課制度の導入により半期毎に各職員の労働意欲・就業態度などを確認、賞与支給の際に個別面談を行い就業環境の向上も図るよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は、管理者を通じて職員が順次の外部研修に参加すること、また復命研修を含めた内部研修を毎月実施するように指示している。ケアの力量等については管理者への聞き取りや人事考課表を参考に判断している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣の同業者とは、管理者の推進会議への相互出席、行事の際の利用者の相互訪問、職員の共同での心肺蘇生訓練等を行い交流を深めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に管理者、ケアマネジャーが面談を行い、本人の状況や希望等の把握・確認を行い、安心して入居して頂けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に管理者、ケアマネジャーが面談を行い、ご家族の希望等の把握・確認を行い、安心して預けて頂けるよう、信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談の時点で見極めを行い、本人、ご家族に確認を行ったうえでサービスを提供できるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者中心にケアができるように関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族との縁が切れる事がないように、家族との連携を大切にしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>親戚の方や近所の方の面会を受け入れたり、外出時に思い出の場所に立ち寄りたりするなどの支援を行っている。</p>	<p>地域で暮らす馴染みの知人との継続的交流ができるように支援している。また外出時に思い出の場所に立ち寄りたりするなどしている。祭り時には、ホームの前は歩行者天国になり、利用者も職員も総出で参加し、友好を温めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者同士が互いに衝突しあうこともまれにあるが、スタッフが仲介に入り、孤立し寂しい思いをする事なく過ごせるよう支援を行っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後、ご家族に合った場合、本人やご家族の様子を伺い、スタッフと情報を共有するようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人との会話を大切にして、希望や意向の把握に努めている。	日々の関わりの中で、利用者の自己決定を尊重している。また家族から情報を得て意向を把握し、個々のサービス提供に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者の状況に合った生活環境やペースを保ち、安心して暮らせるよう支援を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人や家族の情報をもとに現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	様々な情報をもとに、出来る可能性を導き出す事ができるように介護計画の作成に努めている。	本人や家族・医師・職員の意見などをもとに、スタッフ会議で話し合い、利用者本位の介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを実施し、見直しは6ヶ月毎に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個々の記録の必要性・重要性をスタッフ一同把握して、ケアに活かす事ができるように努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況の変化に柔軟に対応できるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源を活用できるように、情報の把握に努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>これまで築いてきた医師との関係を大切にしてもらっている。ご家族の希望や必要に応じて、近隣の病院等の案内を行うようにしている。</p>	<p>入居前からのかかりつけ医の受診を支援している。家族の協力を得ながら、適切な医療が受けられるように支援し、結果は家族に報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	グループホームと訪問看護が契約を行い、週1回入居者全員の身体状況の把握、相談を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	かかりつけの病院関係者との情報交換を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期の受入れが可能であることをご家族に説明している。必要状況によっては、医療機関に入院する可能性があることも説明している。	重度化や終末期に伴う対応の指針を作成している。事業所が対応し得るケアについて、本人や家族に説明して同意書をもらっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命の講習を受講している。訓練を行い、連絡先等の明記もわかりやすいところに行い備えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を実施している。また、地域住民の方々協力を得られる体制を作っている。</p>	<p>マニュアルを作成し、年2回は夜間を想定した避難訓練を実施している。地域では、「西大手町連絡網」があり、緊急連絡網により、地域の協力体制ができている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの思いや性格の把握・理解に努め、その方に合った対応を心掛けている。	利用者の尊厳や思いに配慮したケアや言葉かけを行っている。職員は採用時、個人情報保護について研修を実施し、誓約書を取っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意思の伝達ができるよう声掛けの工夫や理解に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者のペースに合わせた食事時間や休息時間を設け、希望にそった支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自分で服を選択し、着替えを準備したり、好みの服をカタログや買い物に出掛け選び購入する支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者に希望を尋ねメニューを考えている。2か月に1回の割合で外食し、好きな物を自分で選び食べて楽しんでもらうよう支援を行っている。	利用者の嗜好に沿って献立を作っている。食事時間は童謡を聴きながら、職員も一緒にテーブルを囲み、会話を楽しんでいる。行事で外出したときなどは、好みのメニューを選んでの外食を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量・体重管理を行い把握をしている。主治医からのアドバイスも参考に支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの支援を行っている。夕食後は、洗浄剤を使用して、臭いや汚れの防止を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の今の状態・排泄パターンを把握し、尿取りパットやおむつ使用の減少に努めている。	個々の排泄のパターンを把握し、自尊心に配慮しながらトイレでの排泄を大切にしている。入居時のリハビリパンツ使用者も布パンツに移行している。希望によっては、夜間だけポータブルトイレを使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便確認を行い、食事や運動で改善を行っている。排便困難な場合は、主治医と相談の上、便秘改善薬の服薬を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決まった日に実施している。入居者の希望には、応じる。	デイサービスの風呂を利用し、2人1組で週3回の入浴日を決めている。一人ひとりの希望に応じて支援している。入浴を嫌がる利用者も職員間で連携し、入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	過ごしやすい場所でいつでも休息できるよう声掛けや支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋の内容と病名を把握し、服薬の支援を行っている。また、病院受診の際、指示や薬に変更があった場合は、申し送りを行い現状の把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの趣味や関心があることの把握に努め、無理する事なく楽しめるよう支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	気候や流行病の環境を考慮しながら、外出できるように支援を行っている。	街中の散歩や買い物に出かけられるように支援している。時には、ドライブに行ったり、2ヶ月に1回は外食を楽しんでいる。焼酎祭りや夏祭り等には、ホームの前は歩行者天国になるので、利用者と職員の総出で地域の行事に参加して、楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>通常は施設側で管理を行っている。外出した際、買いたい物があれば財布を渡し支払いを行い楽しめるよう支援を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば、家族に電話を掛ける支援を行ったり、季節に応じた手紙（暑中見舞いや年賀状）を書いてやり取りを行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>掲示物の工夫や花などを飾り、居心地良く過ごせるよう工夫を行っている。</p>	<p>入り口に季節を感じる工夫がしてあり、開放的で明るい。厨房は対面式で見守りがしやすい。広間にはゆったりしたソファがあり、居心地よく過ごせる配慮がしてある。窓からは、人の往来と街並みが見え、湿度設定をした空気清浄器があり、清潔である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人掛けの椅子や三人掛けソファを設置し、自由に好みの場所で過ごせるよう声掛けや支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前や面会時には、本人が使い慣れた物を持参して下さるようお願いしている。ベッドや畳などそれぞれが過ごしやすいような居室作りの支援を行っている。</p>	<p>居室は、備え付けのベッドや洗面台があり、仏壇や写真など思い出の品々が持ち込まれ、利用者が居心地よく過ごせるように配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの「できること」「わかること」の理解・把握に努め自立した生活が送れるような支援を行っている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない